

# 「確かな学力」を培う保健学習

## ～効果的なグループ学習・ティームティーチングの実践～

千葉県大網白里市立大網中学校 教諭 齋藤 健 吾

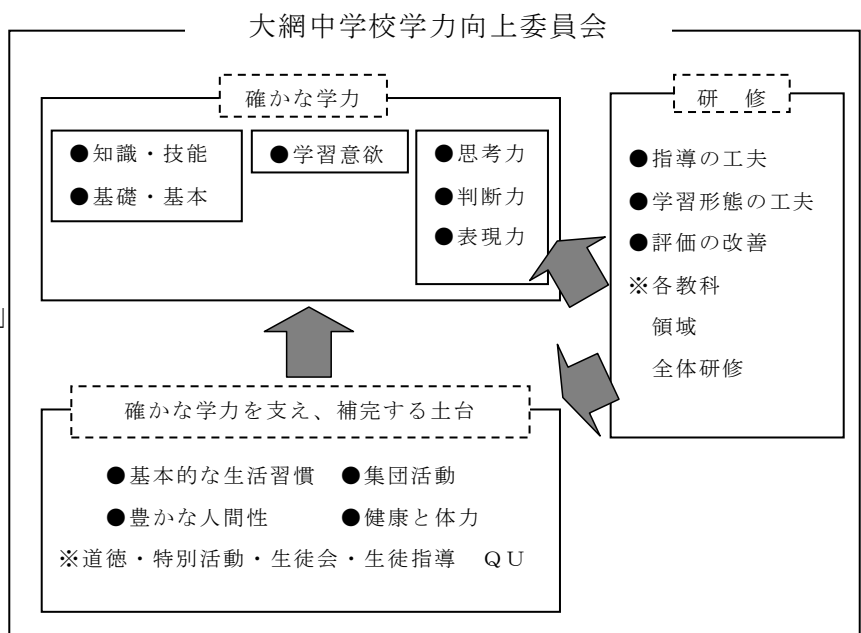
### 1 はじめに

大網白里市は、都心から50～60km圏域に位置している。九十九里浜のほぼ中央にあって、西は緑豊かな丘陵部、中央には広大な田園部、そして東は白砂青松の美しい海岸部という首都圏でも特色のある豊かな自然を有している。かつては、温暖な気候や豊かな海を背景に第一次産業が中心となっていたが、高度成長期に入り徐々に変遷し、千葉市や東京都心への通勤圏であることから、郊外型ベッドタウンの注目が高まり、宅地開発が一気に進んだ。さらに交通アクセスの向上もあり、人口が年々増加し、住宅都市的な一面も帯びている。

全校生徒は843名であり、4つの小学校から本校へ入学してくる。生徒は、素直な子どもが多く、落ち着いた雰囲気での学校生活を送っている。また、挨拶や歌声活動がしっかりとでき、多くの生徒が部活動に加入している。

学校の教育目標は「豊かな心で、生き生きと活動する生徒の育成」であり、「思いやりのある生徒」「礼儀正しい生徒」「真剣に学ぶ生徒」「活力のある生徒」をめざして、教育活動を展開している。

本校では「確かな学力」を基礎・基本を含む「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」及び「学習意欲」として捉えている。また、「確かな学力」を支え、補完する土台を「基本的な生活習慣」「集団活動」「豊かな人間性」「健康と体力」の4つを柱とするとともに、教職員の研究と修養を計画的に実施する中で、教科指導における「指導の工夫」「学習形態の工夫」「評価の改善」を本年度の研究課題として全教科で取り組んでいる。



### 2 研究のねらい

社会の情勢が大きく変化する中、本校においても生徒の体力の低下や運動する・しないの二極化が大きな課題となっている。また、心身の健康、保持増進も重要な部分であり、発達段階に応じた保健学習が求められている。そこで、課題解決に向けた取り組みとして、本校の保健体育科では「体力の向上」や「運動に親しむ資質や能力」を育てるとともに、保健学習に重点を置き、計画的な学習指導を展開している。

特に、学習内容に応じた効果的な学習形態を考慮しており、生徒同士が「教え合い」や「助け合い」学習を要する場面では、グループ学習を多く取り入れている。また、より専門的な指導として教職員と養護教諭のティーム・ティーチングや外部機関講師の活用を図っている。

その中で「知識・理解」の定着，「技能」の習得，「実践力」の向上をはかることをねらいとしている。同時に「思考力・判断力・表現力」および「生徒相互のコミュニケーション能力」の向上が図れるものと考えた。そして，保健体育科の学習で習得した知識や技能が，日常の学校生活において「実践力」として活用できることをねらいとしている。

### 3 研究の概要

- (1) 保健体育科における学習形態の工夫
  - ① グループ学習（話し合い・助け合い）
  - ② ティームティーチング（保健体育科・養護教諭・栄養士・外部機関）
- (2) 保健体育科における指導方法の工夫
  - ① 教材・教具
  - ② 指導と評価の一体化
  - ③ 授業評価
  - ④ 授業アンケート
- (3) 学級や学校保健委員会との連携
- (4) 検証授業の実施

### 4 研究の実践

#### (1) 保健体育科における学習形態の工夫

##### ① グループ学習

1年生では「生殖機能の発達」「ストレスへの対処と心の健康」の学習，3年生では「感染症の予防」の学習でグループ活動を実施した。授業の導入とまとめで小グループによる話し合い活動を取り入れ，学習内容について考えたり，他者の意見を聞く機会をつくった。小グループによる活動を進めていく中で，互いに教えあう場面や活発な意見交換ができた。

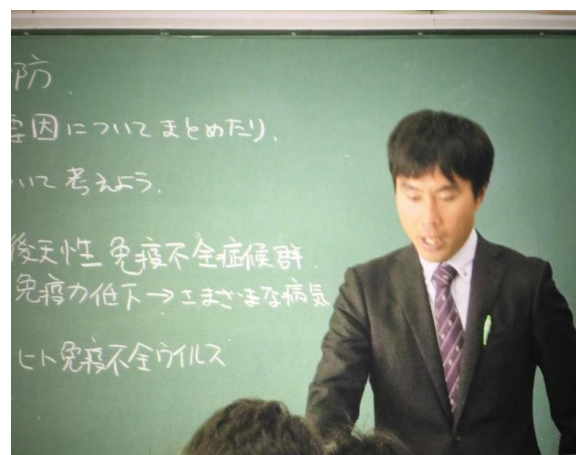
##### ② ティームティーチング

2年生では「けがの応急手当」の学習，3年生では「性感染症の予防」の学習でティームティーチングを実施した。それぞれ養護教諭と指導内容やT1とT2の役割分担を明確にするなど事前の打ち合わせを綿密に行い，授業に臨んだ。養護教諭の専門的な知識が学習内容に大変役立ち，生徒も意欲的に取り組む姿が多く見られた。



#### (2) 保健体育科における指導方法の工夫

教科書中心の学習指導ではなく，教材や教具を事前に準備するとともに，何を，どの場面で，どのようにするのかを検討した。特に教材・教具は生徒数に見合った数を準備し，それぞれの生徒が学習できるよう配慮した。また，生徒の視覚をとおした指導（掲示物や視聴覚機器など）や実技など実際の活動を中心に学習指導を行った。包帯法では，生徒同士が巻き方を確認したり，方法を理解した生徒が周囲の生徒にアドバイスをしたりする場面も多く見られた。授業中の様子からも，1人では難しいことであっても，



グループ内で助け合うことができるため、課題解決にむけた学習を展開することができた。また、授業後の感想でも学習意欲や技術面での成果が多くあげられた。

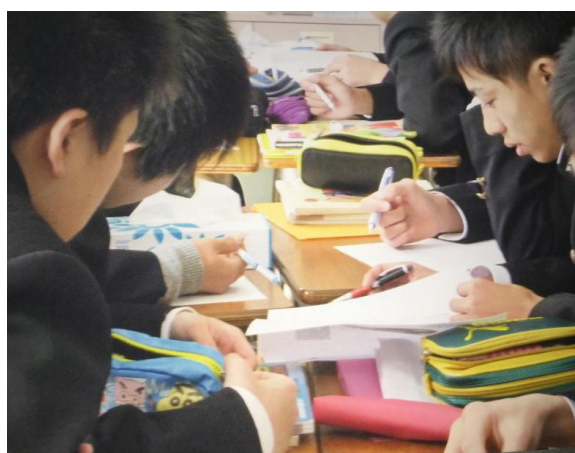
指導と評価の一体化については、学習指導要領に基づいた指導を展開しているが、生徒の実態を把握し、生徒一人ひとりに応じた「きめ細かな指導」にも配慮している。グループ内での学習活動に対し、指導者が学習状況を的確に判断し、指導・支援を繰り返すことも重要になってくる。学習活動を指示したままでは、意図する「知識・理解や技能の習得」「思考力・判断力・表現力」を高めることが難しい。また、指導内容を含め、学習の道すじを明確にするとともに、発問についても保健体育科で検討している。そして、評価については年度当初に生徒及び保護者に周知している。と同時に生徒による指導者の授業評価やアンケートも実施し、指導者の授業改善に取り組んでいる。

### (3) 学級や学校保健委員会との連携

保健体育科の授業をとおして学んだ知識・技能を学級や学年及び全校体制の中でいかせることがもっとも重要であり、学級担任と連絡・連携を強化し、日常生活での実践につなげていきたい。また、学校保健委員会と連携を図ることで全校体制に発展させる取り組みを試みている。そして、「心身の健康」や「疾病の予防」などは、学校生活の安全・安心という観点からも大切な内容であり、養護教諭とともに、計画的に実施してきた。PDCA サイクルを活用しながらの取り組みで、課題や改善点は多くあるが、生徒や学級担任（教職員）の意識は変容してきており、今後の取り組みにより、さらに高めていきたい。

### (4) 検証授業の実施

昨年度から本研究に取り組んできたが、学習指導や学習形態などの確認を含め、教職員の指導力アップについても取り組んでいく必要性を強く感じている。県教育委員会から指導者を招き、授業研究を実施し、指導・助言をいただいた。また、教職員同士の相互授業参観にも取り組んでおり、経験豊かな教職員と若手教職員がともに、お互いの授業を参観する中で、多くの学びや新たな発見があった。



## 5 研究のまとめ

### (1) 成果

グループ学習・ティームティーチングの2つを柱に授業を進めていく中で、生徒が意欲的に学習に取り組む姿が非常に目立った。グループ学習では、積極的に話し合い活動に参加し、自分の考えを発言したり、話し合った結果をまとめて発表したりすることができた。また、養護教諭がT2として指導した際には、より専門的で詳しい話に興味をもち、学習内容を理解しようとしていたことが授業後の反省・感想から読み取ることができた。「性感染症の予防」について学習した3年生からは、次のような感想が出てきた。

- ・男子にも、性感染症について深く理解してほしい。
- ・自分の体だけでなく相手の体にも関わることなので、気をつけたい。
- ・赤ちゃんにも影響するなんてびっくりした。しっかり予防したい。

また、「生殖機能の成熟」についての学習では、「自分を大切にするとどのような事なのか」「性に関する適切な態度とはどのようなものか」について話し合わせた。その授業後の生徒の感想としては、次のようなものがあった。

- ・男性と女性では違うところがたくさんあることがわかった。お互いに理解しようとする気持ちをもつことが大切だと思った。
- ・興味本位で性行為に及んではいけないとよくわかった。
- ・もし相手を妊娠させてしまっても、今の自分には何の責任もとれないから気をつけたい。
- ・実際に妊娠・出産するのは女性だし、相手の体を大切にしなければいけないと思った。

昨年度・今年度とグループ学習、ティームティーチングを行ったことにより、生徒が主体的に学ぼうとする姿勢や、学習したことを生活に生かそうとする気持ちを引き出すことができた。今後は日常生活の中でより実践していくことができるよう、授業以外の様々な場面で指導していきたい。

### (2) 課題

授業の初めと終わりにグループ学習を実施した結果、生徒のさまざまな考えを引き出し、仲間と共有することができた。しかし、1回の授業で2度グループでの活動を行うことで、時間に余裕がなかったと感じた。1時間の授業にこだわらず、単元全体で計画的にグループ学習を取り入れていくことが必要ではないかと感じる。また、生徒から出てきた意見をもとに話し合いを行い、考えをより深めていくことも、より効果的なグループ学習につながるのではないだろうか。また、ティームティーチングでは、外部から講師を呼ぶこともできると学習内容をより定着させることもできるであろう。



今回の研究を通して、生徒が活発に話し合いをしたり、発表をしたりして学習内容を身につけようとしている姿をたくさん見ることができてよかった。今後も、よりよい指導方法について検討・実践していきたい。